

シラバス参照

履修年度	2020
担当教員	遠藤 元
連番	11500063601
曜日・時限・開講期	月曜日 4時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
分野系列	地域研究科目
学年	2年生
単位	2
講義名	東南アジア地域研究4(東南アジアの暮らしと経済)
開講キャンパス	東松山
備考	https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html
最終更新日	2019/12/23 11:36

授業の概要 (Outline of course)	東南アジアの経済発展過程とその帰結について、肯定的側面と否定的側面の両面を具体的にみていく。その際、国内のさまざまな経済主体、すなわち、企業、農民、労働者、消費者、政府などの主体的行動に焦点を当てて考察する。講義では、受講生が実感をもとに理解ができるように、できるだけ具体的な事例を交えて説明する。併せて、東南アジアの経済について研究するうえで、地域研究にはどのような意義があるのかを解説する。		
授業の到達目標 (Attainment targets of Course)	(1) 東南アジアの経済成長の肯定的側面と否定的側面を解説できる。 (2) 東南アジア地域の多様性を解説できる。		
授業の形態 (Course method)	毎回、講義の初めにその日の課題を提示し、講義の最後にその課題に対して小レポート方式で回答してもらい、採点済みの小レポートを次の講義の最初に返却し、前回の講義を簡単に振り返る。このようにして、通常の一方的講義ではなく、双方向的な授業になるように努める。		
授業計画 (Class schedule)	回数	授業内容	担当教員
	第1回(Day 1)	ガイダンス:なぜ、経済主体を取り上げるのか?	遠藤元
	第2回(Day 2)	農民と慣習経済	遠藤元
	第3回(Day 3)	「緑の革命」と農村社会の変容	遠藤元
	第4回(Day 4)	地域間所得格差・人口移動・都市化	遠藤元
	第5回(Day 5)	都市インフォーマル経済とスラム	遠藤元
	第6回(Day 6)	都市中間層の実像と虚像(1)都市中間層は民主化の担い手か?	遠藤元
	第7回(Day 7)	都市中間層の実像と虚像(2):都市中間層は消費の担い手か?	遠藤元
	第8回(Day 8)	消費市場と多様化する流通	遠藤元
	第9回(Day 9)	「スーパーマーケット革命」と東南アジアの生産・流通システム	遠藤元
	第10回(Day 10)	環境問題(1):森林破壊と****	遠藤元
	第11回(Day 11)	環境問題(2):産業公害と****	遠藤元

	第12回(Day 12)	工業化の担い手(1):財閥の特徴	遠藤元
	第13回(Day 13)	工業化の担い手(2):財閥の事例	遠藤元
	第14回(Day 14)	開発体制:起源・展開・溶解	遠藤元
	第15回(Day 15)	まとめ	遠藤元
授業外の学習 (Way of self-study)	新聞やテレビのニュースなどを通じて、毎日、東南アジアの経済社会の動きを把握しておく。		
教科書 (Textbooks)	特定のテキストは使用せず、講義のテーマごとに関連資料を配布する。		
参考文献など (Books for reference)	遠藤元『新興国の流通革命—タイのモザイク状消費市場と多様化する流通』日本評論社、2010年		
成績評価の方法・基準 (Assessment procedures and Standards for Academic results)	評価方法	割合	評価基準
	筆記試験	50 %	期末試験の結果
	実技評価	0 %	なし
	レポート評価	0 %	なし
	平常点評価	50 %	毎回授業中に課す小レポートの内容
	その他	0 %	なし
履修上の注意 (Important notes for applying to the course)	各回の講義内容は互いに関連しあうので、毎回欠かさず出席すること。また、「東南アジア地域研究3(東南アジア経済とグローバル化)」も履修することが望ましい。		
連絡先・連絡方法など (Contact information/ way to contact)	研究室: 東松山校舎第2研究棟4階437号室		
その他 (Others)	一般に考えられている以上に、日本と東南アジアの経済関係は広く深い。この講義をはじめ、新聞やテレビなどメディアを通じて、東南アジアの今の動きに関心をもってほしい。		
画像 (image)			
添付ファイル (File)			